

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県立音楽堂
 指定管理者 公益財団法人神奈川芸術文化財団
 施設所管課 県民局くらし文化部文化課

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括			
報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月17日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。
11月	12月10日	12月17日	月報等で適切に業務が行われていることを確認した。
12月	1月11日	1月18日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。
1月	2月10日	2月17日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。
2月	3月10日	3月17日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。
3月	4月11日	4月27日	月報・現地確認等で適切に業務が行われていることを確認した。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度
 A: 提案を上回る **B: 提案どおり** C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>
 利用日、利用開始時間の柔軟な設定

<実施状況>
 利用希望がある休館日を臨時開館とした(4日実施)。
 準備などで通常の開館時間前に利用希望があった場合は、8時台に開館し対応(計23回実施)。

<提案内容の概要>
 音楽堂の設置目的と歴史を深く理解し、ノウハウ等を活かした事業企画の実施を提案した。

①音楽堂の特性とノウハウ等を活かした企画事業の実施

②鑑賞型の公演に付随したアウトリーチ・プログラム等の実施

③外部資金確保の努力

<実施状況>

①音楽堂の音響を活かした鑑賞公演及び、音楽堂が独自に企画したオリジナル公演を実施。

10月 井上道義の上り坂コンサート vol.10 前夜祭及び本公演 2公演 入場者数 1,379名

12月 第45回クリスマス音楽会「メサイア」 入場者数 760名
 ゲヴァントハウス弦楽四重奏団 入場者数 639名

1月 エレーヌ・グリモー ピアノ・リサイタル 入場者数 810名

2月 第18回神奈川国際芸術フェスティバル 音楽堂で聴く雅楽 入場者数 763名

・共催「音楽堂・おかあさんコーラス大会」(10月)では4日間にわたり第50回の記念大会を実施。入場者数 3,800名。上記を含む主催事業7演目17公演(アウトリーチ及び公開リハーサルを含む)、共催事業5演目10公演を実施。

②主催公演関連アウトリーチや公開リハーサルのほか、横浜市内小学校や県立養護学校へのアウトリーチを実施。

10月 井上道義の上り坂コンサート vol.10 公開リハーサル 入場者数 269名

1月 ふれあいアウトリーチ(秦野養護学校 78名 座間養護学校 415名)

1月～2月 横浜市内小学校アウトリーチ(永谷小学校 714名、阿久和小学校 177名)

公演の制作過程や当日の様子等をホームページブログ「音楽堂日記」で情報提供。

③芸術文化振興基金より「井上道義の上り坂コンサート vol.10」について2,300千円、「音楽堂で聴く雅楽」について1,400千円の助成金を獲得した。翌年度に向け助成金申請を行い芸術文化振興基金(2400千円)の内定を得た。また、文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業(地域の中核劇場・音楽堂)にも採択が内定(7,116千円)した。また県内企業を回り、次年度の協賛金の確保に努めた。

3 収支状況 (単位：千円) 注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
		指定管理 料	利用料金(前年 同月料金額)	その他 収入		
年間予算	261,601	188,659	34,000	38,942	261,601	0
上半期計 (a)	124,367	89,152	15,741 (16,940)	19,474	109,655	14,712
下半期計 (b)	149,210	99,507	18,700 (19,128)	31,003	163,922	△14,712
(参考) 10～2月計	104,955	76,872	15,650	12,433	103,440	1,515
10月	13,611	9,760	3,832 (3,413)	19	16,394	△2,783
11月	26,160	16,204	3,712 (3,300)	6,244	20,706	5,454
12月	20,765	17,591	3,149 (3,428)	25	23,405	△2,640
1月	24,741	19,217	2,058 (2,359)	3,466	24,752	△11
2月	19,678	14,100	2,899 (2,104)	2,679	18,183	1,495
3月	44,255	22,635	3,050 (4,522)	18,570	60,482	△16,227
合計(a+b)	273,577	188,659	34,443	50,477	273,577	0

- 1 指定管理者の収入を記載する (県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

(平成22年度に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況	神奈川県立音楽堂開館60周年記念公演積立金	(期首) 0千円
		(期末) 8,027千円
	経営基盤安定積立資産	(期首) 0千円
		(期末) 14,125千円

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	75,398人	72,477人	4%
下半期計 (b)	90,709人	78,977人	14.9%
(参考)10~2月	78,439人	64,417人	21.8%
10月	27,161人	14,744人	84.2%
11月	17,015人	18,144人	△6.2%
12月	12,810人	12,039人	6.4%
1月	5,677人	6,260人	△9.3%
2月	15,776人	13,230人	19.2%
3月	12,270人	14,560人	△15.7%
合計(a+b)	166,107人	151,454人	9.7%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

10月の利用者増は、中学校の合唱コンクールの観覧者増によるもの。2月の利用者増は、昨年度よりも自主事業の利用日数が減り、貸館利用が増えたため。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	0	0	0	0	11	11
11月	0	0	0	0	7	7
12月	0	0	0	0	11	11
1月	0	0	0	0	5	5
2月	0	0	0	0	7	7
3月	0	0	0	0	5	5

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・トイレの数が少ない、増設してほしい（3件）	トイレ増設工事を実施後は、トイレ数が多くなった、またきれいになったという声が増えている。混雑時は、引き続き客用トイレ内に案内整理の人員を配置し、対応している。
	・座席が狭い(29件)	建築構造上、座席幅の改修は難しいが他の改善方法について検討中。
	・空調が良くない（16件）	引き続き催し物や入場者数に応じて空調・換気の微調整により対応。
	・エレベーター・エスカレーター設置、バリアフリー（4件）	構造上、エレベータ、エスカレータの設置などの改修が難しい。車椅子の出演者がいるときは、舞台スタッフの工夫によるスロープ設置をするなど人的サポートで対応している。
	・全体的にみずぼらしい、古い（4件）	小修繕や清掃等で館内の清潔感を保つように努めている。
職員対応	・舞台スタッフの対応が親切、以前よりスタッフの対応が良い（10件）	引き続き、きめ細やかな対応に心掛けていく。
事業内容		
その他	・桜木町から送迎バスを出してほしい（3件）	駐車場での乗降が難しいため、対応は難しいと思われるが、調査してみたい。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
10月2日	77歳の女性が客席内で通路に降りる最後の段で足を踏み外し、転倒した。救急車を呼び脳外科で検査してもらったが、異常は無かった。本人の希望もあり公文協保険の対応はしなかった。

8 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		該当なし。	
月 日			

9 下半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、施設維持管理、一般貸し出し、自主共催事業などの業務を順調に遂行した。3月11日に発生した東日本大震災で、施設設備への被害はなかったが、余震の続く中、舞台スタッフと連携していざという時に備える体制で臨んでいる。なお、建物や人への直接的な被害はなかったものの、一般貸館が中止になったことに伴う対応を行った。 ・学校関係者や一般の方の利用が多い施設であることから、熟練された舞台スタッフや職員が利用者の立場に立った対応を丁寧に行っている。また施設の居心地向上のための工夫も常に検討している。接客スキルの向上については1～3月に高齢者・身障者対応接客研修を舞台スタッフも交えた職員全員が受講した。 ・保安業務は図書館保安員の巡回に加え、青少年センター警備とも連携し対応しているが、学校やアマチュアの無料公演の折の開場中や終演時に不審者の入館が見られ、不安がある。今後更なる対策を講じる必要があると考えている。 ・アンケートなどによる利用者・来館者からの意見では、建物や設備、特に座席と空調についての指摘が目立った。またホール内での異音や音漏れの指摘もあった。更に大震災後に度重なっている余震が施設設備に影響してくるのではないかと心配される。こうした中で、利用者及び来館者の安全を第一に考え、引き続き施設設備の丁寧な点検と少破修繕等を行う一方、少しでも快適な空間を提供できるよう検討を重ねていきたい。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災時に、施設設備の被害はなかったが、老朽化が進む大規模集客施設として、指定管理者には、施設・設備の保守・点検について万全を期していただきたい。また、災害時等、来場者の安全、安心が確保できるような体制の確保にも留意して、管理・運営にあたっていただきたい。 ・音楽堂の音響をいかした多様な主催公演を実施しているほか、本公演に関連した公開リハーサル、特別支援学校等へ出向くアウトリーチを実施するなど、多彩な取組を行い、高い水準の公演を実施し、県民に良質な文化芸術の鑑賞の機会を提供するとともに、高い芸術性を有する文化芸術の創造発信に努めている。 ・第1期指定管理期間は終了するが、第2期指定管理期間においても、音楽堂という施設・設備面での制約を踏まえつつ、その施設特性を活かした管理運営に努め、利用率、利用者数、利用料金収入の向上に努めていただきたい。